

「広島広域都市圏発展ビジョン」骨子案に対する意見募集の結果について

「広島広域都市圏発展ビジョン」骨子案に対する意見募集を実施し、圏域内市町の住民の皆様から以下のとおり御意見を頂きました。

1 募集期間

平成27年12月18日（金）から平成28年1月8日（金）まで

2 募集方法

- (1) 広島市ホームページ及び圏域内各市町（23市町）に募集コンテンツを掲載
- (2) 広島市の広報紙に募集記事を掲載（ひろしま市民と市政1月1日号）
- (3) 骨子案の閲覧場所の設置
 - ア 広島市
 - ・企画総務局企画調整部分権・行政改革推進課
 - ・各区役所区政調整課
 - ・公文書館
 - イ 圏域内各市町（23市町）
 - ・圏域内各市町担当課
- (4) 市政記者クラブへ情報提供

3 募集結果

- (1) 応募者数 10人
- (2) 意見件数 21件

4 御意見への対応

頂いた御意見の要旨とそれに対する広島市の考え方については、別紙を御覧ください。

御意見の要旨とそれに対する広島市の考え方

御意見の要旨	広島市の考え方
<p>① 本案は是非、具体的取組を充実してほしい。圏域内の人の流れを作り出すことで、この圏域外からも人を呼び込むことができ、元気な街になると思う。江田島市は、都会の近くにある自然豊かな島であり、自然の中で生活し、楽しみながら都市で働くことが可能なエリアになる。是非とも強力に取り組んでほしい。</p> <p>② また、現在、既に広域的に進んでいるロングトレイル構想も広域都市圏事業として推進してほしい。</p>	<p>① 来年度以降も連携市町と協議を重ね、現在、検討中となっているものをはじめとして、取組の具体化を図っていきます。</p> <p>② ロングトレイルに関しては、「既存の山歩きルートを生かした新しい観光事業等の創出」に取り組むことにしています（ビジョン（案）P.63）。</p>
<p>2040年の圏域の高齢化率を36.1%と見込みながら、施策体系の生活面に高齢者福祉に関する事業が見当たらない。これだけの高齢化社会で生産年齢人口が働き続けるためには、在宅福祉だけでは経済面で続かない。医療関係の記述はあったが、施設福祉や福祉制度についても充実させなければ働き続けられない。政府が介護離職ゼロの施策をうたったが、この具体的な広島版の提案がほしい。</p>	<p>御指摘の高齢者施策については、本年度、全市町村が策定予定の「総合戦略」において、その基本目標のうちの一つである「安心なくらしを守る」に資するものとして、来年度以降、圏域内の各市町においても積極的に取り組まれるものと考えられます。</p> <p>連携施策としての高齢者施策の実施については、来年度以降、各市町における課題等を協議していく中で、検討していきたいと考えています。</p>
<p>「1 ヒト・モノ・カネ・情報が巡る都市圏を創る」の「(3) 世界が注目する観光都市圏へ挑戦する」に、以下を追記してほしい。</p> <p>① 平生町には『阿多田交流館』という回天で亡くなった青年将校を忘れないための施設がある。広島市・呉市と協力して平和を考えるための戦争遺跡ツアーを行う。</p> <p>同「(4) 魅力ある里山・里海産業を支援する」に、以下の2つを追記してほしい。</p> <p>② 有害鳥獣の肉（ジビエ）を活用するため各種研修・食肉処理場の建設・販路拡大への協力</p> <p>③ 繁茂する竹を竹ボイラー等を用いて燃料として活用、竹チップを下水道の汚泥と混ぜたい肥化し、循環型農業を構築する。また、竹漁礁も活用し、海の生態系を多様にする。</p>	<p>① 圏域内の貴重な資源を活用した周遊の促進については、「広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会事業」において、参画市町と連携して検討する中で参考にさせていただきます（ビジョン（案）P.63）。</p> <p>②及び③ 「農水産物等の圏域内での地産地消による循環」「バイオマスエネルギーの圏域内での地産地消による循環」の視点に立って継続的に協議を行う研究会を設置し、新たな施策を企画立案していく予定であり、今後、具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます（ビジョン（案）P.33～34）。</p>

御意見の要旨	広島市の考え方
<p>〈続き〉</p> <p>④ 「3 住民の満足度が高い行政サービスを展開できる都市圏を創る」の「(2) 結びつきやネットワークを強化する」の「④ 交流・移住・定住の促進」で、「広域での出会い (合コン)」も検討してほしい。</p>	<p>〈続き〉</p> <p>④ 「交流・移住・定住促進に係る広域連携事業」において、今後、具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます (ビジョン (案) P. 71)。</p>
<p>① 当ビジョンが広島市のために作成されているように受け取った。そこで、タイトルを「ひろしま・・・」としてはどうか。骨子案 P. 29 にも「誰もが・・・ひろしま都市圏」となっている。</p> <p>② 骨子案 P. 13 の「水産業」について、「広島湾とその周辺では、かきの養殖が盛んです」とあるが、周防大島町の北岸も広島湾に面しているが、かきの養殖は行っていない。ここは「広島港」とすべきではないか。</p> <p>③ 骨子案 P. 28 の「大学」に高専を含めないのか。周防大島町には商船高専があり、約 600 名の学生が全国から入学している。掲出の他の短大と学生数を比べても遜色ないと思うので、これを含めてはどうか。</p>	<p>① 広島広域都市圏としての取組であることが明確となるよう、「ひろしま都市圏」を「広島広域都市圏」に修正します (ビジョン (案) 表紙及び P. 29)。</p> <p>② 呉市や江田島市等、広島港以外の海域においても、かきの養殖は盛んに行われています。</p> <p>③ 「図表Ⅱ-38」に高等専門学校 (呉工業高等専門学校、広島商船高等専門学校、大島商船高等専門学校の 3 校) を追加します (ビジョン (案) P. 28)。</p>
<p>周防大島町でも人口流出による少子高齢化が最大の問題点となっている。定住促進のための雇用創出には地域的に限界がある。解決策の一つとして、環境の良い周防大島で子育てをしながらの広島圏域への通勤が挙げられる。現在でも広島への通勤者はおり、交通手段は JR になるが、周防大島からの最寄り駅である大島から広島まで利用する場合、岩国で乗り換えとなる。また、通勤時間も以前より長時間になっている。実現は簡単でないとは思いますが、例えば「遠距離通勤応援快速」といった列車を朝夕 1 本でも設定すれば、周防大島からの通勤も今以上に選択肢に入ってくるものと思われる (遠距離通勤応援快速=岩国までは各駅停車で、岩国からは主要駅 (2~3 駅) のみに停車)。過去には存在していたと思う。)</p> <p>広域化ビジョンの交通施策として検討してほしい。</p>	<p>「圏域内公共交通網の充実・強化」において、圏域内市町と連携しながら公共交通網の充実・強化に取り組むこととしており、今後、具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます (ビジョン (案) P. 54)。</p>

御意見の要旨	広島市の考え方
<p>広域都市圏においても例外でなく、まず第一に、地域経済の維持、そして存続さらには活性化対策を図らなければ、地域が衰退することになるが、そのためには抜本的な少子高齢化対策を打ち立てて確実に実施していくことが喫緊の課題である。意見だが、</p> <p>① サブタイトルについて…標題 「誰もが“住み続けたい”“住んでみたい”ひろしま都市圏」でなく「・・・ひろしま広域都市圏」に変更できないか。「ひろしま都市圏」では広島での取組と誤解されやすいため、山口県東部も一緒になって広域的取組をしていることを内外に情報発信する必要がある。</p> <p>② 中長期的な将来像の中で「産業構造」について…骨子案 P.3～19 それぞれの項目ごと(人口、産業構造・・・)の記載内容では、グラフが表わす状況分析について、より具体的に詳しい記載(内容に厚み)が必要ではないかと思う。 なお、水産業では「かきの養殖」のことしか述べていないし、産業ごとに全体的な捉え方も必要ではないかと思う。広島県内のできごとに偏りがちな記載が目立つので広域的な視野で検討してほしい。 観光資源については、図表Ⅱ-19における圏域の観光資源の分布について、他にも観光資源となっている施設があると思う。この分布図を東部と西部に分けてA4で2ページとし、詳しくすれば見やすいのではないか。</p> <p>③ 個々の具体的取り組みについて…骨子案 P.33～ ア 重要業績評価指標(KPI)や事業内容については記載がないが、目標年度の2020年度、さらに2025年度を含め、5年後10年後の中長期的な取組を計画したらどうか。また、年度ごとのアクション計画(事業)を作成し実行に移し、社会情勢の変化に応じて適宜計画の追加や見直し等を行い、計画の進行管理をしていくことも必要と思う。 イ 主な事業については、「検討中」とのことだが、事業化を進める中で、広域的な取組を実施していくため、抽象的な内容に陥り、焦点がかすんでしまわないようお願いしたい。</p>	<p>① 広島広域都市圏としての取組であることが明確となるよう、「ひろしま都市圏」を「広島広域都市圏」に修正します(ビジョン(案)表紙)。</p> <p>② 記載内容は広島広域都市圏の概況をお示したものです。 産業ごとに「圏域内調達による循環」「地産地消による循環」の視点に立って継続的に協議を行う研究会を設置し、新たな施策を企画立案していくこととしており、今後、具体的な取組内容を検討する中で、より詳しい分析を行っていきます(ビジョン(案)P.33～34)。 圏域の観光資源の分布についても、代表的なものを示した図であり、今後、具体的な取組内容を検討する中で、より詳しい取りまとめを行います(ビジョン(案)P.15)。</p> <p>③ア 「広島広域都市圏発展ビジョン」においては、経済面・生活面・行政面から目指す都市圏像ごとに重要業績評価指標(KPI)として5年後の目標値を設定することとしており、これを基に実施した施策や事業の効果について検証を行い、必要に応じて「ビジョン」の改訂を行っていきます(ビジョン(案)P.2、P.33・51・56・81～82)。 イ 今後、具体的な取組内容を検討・実施する中で、御指摘の趣旨を踏まえて対応していきます。</p>

御意見の要旨	広島市の考え方
<p>〈続き〉</p> <p>④ 全体として…各市町との連携 このビジョンと各市町で独自に取り組んでいる事業との連動性も重視し、相乗的な効果を上げることも必要と思う。また、広域的な取り組みや地域ごとの特色を最大限に活かした取組を織り交ぜて効果的な事業展開をお願いしたい。</p> <p>以上、平成 28 年度から本格的に始まる地方創生とあわせて、それぞれの市町村の命運をかけて取り組むが、このビジョンが希望を持てる将来あるべき姿となり、地域住民が本当に住んで良かった実感できる地域づくりを進めてほしいと思う。「絵に描いた餅」に終わらないことを期待している。</p>	<p>〈続き〉</p> <p>皆さんに“住み続けたい”“住んでみたい”と思ってもらえる広島広域都市圏を目指して、圏域内の市町で力を合わせて様々な施策を展開していきたいと考えており、今後、具体的な取組内容を検討・実施する中で、各市町と密接に連携を図りながら対応していきます。</p>
<p>① 骨子案概要版のV-i 施策 (4) 魅力ある里山・里海産業を支援するに関して 瀬戸内海のかき養殖の機能の低下の原因のひとつに流入する川の水質の低下がうかがわれている。水質の低下には森林の荒廃による水源涵養の機能の低下、農薬の使用による水生の小動物、微生物の激減などが考えられる。この項目を具体化するために、事業2、事業3に関わることとして太田川の機能の再生を加えてほしい。</p> <p>② 同V-iii 施策 (1) 暮らしの質を高めるに関して 高齢化社会が進行する中で、生活のための日用品、食料を購入することは難しくなってくる。事業の中に高齢者にとって生活しやすくなる手立てを組み入れてほしい。隣接する安芸太田町では光回線を使って地元の業者と住民を結びつける手立てを講じておられる。施策(2)の事業2とも関わるが、ブロードバンド環境を広域都市ビジョンの中に組み入れ、高齢者にも日常の生活に安心が持てるようしてもらいたい。</p>	<p>① 今後、「② 健全な森林の育成・保全」、「③ 水産資源の確保」の具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます（ビジョン（案）P. 48～49）。</p> <p>② 「超高速ブロードバンド環境の整備に係る研究会の設置」において、現在、超高速ブロードバンド環境が未整備の地域への対応方策等について、各市町が連携して調査・研究を行うこととしており、今後、具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます（ビジョン（案）P. 68）。</p>

御意見の要旨	広島市の考え方
<p>〈続き〉</p> <p>③ 自然災害についての記述が乏しいように思う。このこともブローバンド環境に関わることと思うが、広島市の太田川流域の住人に太田川の情報を防災無線等で伝え、避難等の判断ができる手立ての検討も具体策の中に組み入れてほしい。一昨年の災害に学び、土砂災害についての情報が速やかに入手でき避難ができる態勢の確立も早急な課題だと思う。</p>	<p>〈続き〉</p> <p>③ 御指摘の趣旨に対応した施策として、「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略において、「防災情報共有システムの構築」に取り組むこととしており、今後、具体的な検討等を行う中で参考にさせていただくとともに、併せて広域都市圏における取組の可能性等も検討していきます（総合戦略（案）P.26）。</p>
<p>可部線メモリアル街道 平成 18 年の可部線廃線敷再生ビジョンの早期実現を加えてほしい。</p>	<p>現在、可部線廃線敷再生ビジョンの実現に向けて地元の方々と協議調整を図りながら事業を進めており、頂いた御意見を参考に、できるだけ早期に実現できるよう取り組んでいきます。</p>
<p>連携する地域の相互交流を活性化させ、各地域住民が、街の魅力を発信し続ける仕組み作りが必要だと思う。</p>	<p>圏域内の市町が互いの魅力や地域資源の情報を共有し分かち合いながら、「広島広域都市圏発展ビジョン」に掲げた施策を展開していくことにより、「200 万人広島都市圏構想」を実現したいと考えています。</p>
<p>200 万人広島都市圏構想は良いことだと思う。その中では自分の市だけの案内等ではなく、他市町の案内も可能となるような仕組みが必要と考える。それを実現するために、各ノウハウをビッグデータとして貯める仕組み、また、それを情報提供可能とする仕組みを整備することで、更なる実現につながるのではと考えている。検討をお願いしたい。</p>	